



シェアリングエコノミー推進事業「島原コスプレの乱」

場所や人、モノなど遊休資産をシェア（共有）し課題を解決する行政のあり方として注目されているシェアリングエコノミーサービスに取り組みます。

持続可能な自治体のため効率良い市政運営を行うためにも共有できる観光施設や古民家など遊休施設を新たな形で活用していきます。

地方創生に向けて、これからも積極的に企業や市民と連携し、まちを活性化させるとともに、市民の声を市政に生かし、市民目線に立った行政改革を進めていきます。

シェアリングシティ宣言！
遊休資産を活用し課題に取り組む
市民目線に立った行政改革



企業との女性活躍に関する包括協定



シェアリングシティ宣言

**福祉施策の充実と
思いやりのあるまちづくりへ**

高齢者や障がい者を思いやる福祉の充実

島原市は、市民が健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。いくつになっても、体が不自由な状態においても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指します。特に、通院や買い物、交流の場への移動手段の確保は福祉政策の大きな課題。これまでの実証運行を踏まえ、具体的な公共交通網の再編と利便性の向上を図ります。

中心市街地に交流の場の整備を進め、市民同士の交流の機会を増やし、島原らしく顔の見える関係を築き上げ、交流の活性化を、商店街の活性化にも繋げていきます。

また、元気で活発な高齢者には、その元気を各地域で発揮してもらい、次世代に繋がるまちづくりのアドバイザーとして活躍していただき、いくつになっても、役割と生きがいを持って、自分らしく暮らせるまちを目指します。



健康づくり推進員の地区活動（唄って歌って健康づくり）



市長杯ペタンク交流大会



ノルディックウォーキング教室



“芝生で”いきいきワンデー